令和５年度当初予算案

誰もが主役
挑戦・活躍・輝けるまち

～未来の‘すみだ’に投資する予算～

2023

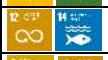
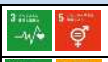
ひと、つながる。
墨田区

令和５年度予算案記者発表 資料番号一覧（目次）

まちづくり元年（未来への投資）関連事業

資料番号	資料タイトル	主なSDGs目標	予算概要での該当箇所	主管課
■ すみだ南部エリア				
1	‘産業共創 ’施設を錦糸町にオープン		P33 No12	産業振興課
2	新保健施設等複合施設の建設		P37 No20	新保健施設等開設準備室
3	江東内部河川整備事業		P42 No5	都市整備課
■ すみだ中央部エリア				
4	とうきょうスカイツリー駅付近東武伊勢崎線高架化等の推進		P45 No1,No2	立体化推進課・拠点整備課
■ すみだ北部エリア				
5	大学のあるまちづくり		P27 No1,P42 No3	行政経営担当・都市整備課
6	文花児童館移転整備事業		P38 No3	子育て政策課
7	「文花二丁目南地区」地区計画に基づく道路整備事業		P42 No8	都市整備課
8	八広児童館移設事業		P38 No8	子育て政策課
9	鐘ヶ淵周辺地区のまちづくり		P39 No8	防災まちづくり課
■ 隅田川沿川エリア				
10	隅田公園再整備事業		P42 No2	都市整備課
11	観光支援施設を新たにオープン		P33 No17	観光課
12	隅田川沿川地区まちづくり推進事業		P39 No1	都市計画課

施策ごとの事業

資料番号	資料タイトル	主なSDGs目標	予算概要の該当箇所	主管課
■ 社会経済活動の回復、新型コロナウイルス感染症、SDGsに対する取組				
13	新型コロナウイルス感染症対策・休日応急診療における発熱外来の実施		P36 No1 他	保健予防課･保健計画課
14	SDGs未来都市推進事業		P27 No8	SDGs未来都市政策調整担当
15	ゼロカーボンシティの実現に向けた取組		P44 No2,No9	環境保全課･すみだ清掃事務所
16	廃プラスチックの分別収集・再資源化のモデル実施		P44 No7	すみだ清掃事務所
17	食品ロス削減対策事業		P44 No8,P35 No3	すみだ清掃事務所・厚生課
■ DXに対する取組				
18	LINE区公式アカウント導入でさらなる情報発信！		P27 No6	広報広聴担当･子育て支援課
19	ニーズ対応型「おくやみコーナー」の設置		P29 No2	窓口課
20	証明書郵送請求のキャッシュレス化		P29 No4	窓口課
21	学童クラブのDX推進でサービス向上！		P38 No7	子育て政策課
22	高齢者ICT講習会等事業		P35 No14	高齢者福祉課
■「暮らし続けたいまち」の実現				
◇ 切れ目ない子育て支援・環境の充実				
23	墨田区版ネウボラの推進		P36 No12 ～ P37 No17,No19	本所保健センター
24	家事･育児サポーター事業		P38 No11	子育て支援総合センター
25	エデュケーションアシスタントの配置		P15	教育委員会事務局 指導室
26	休日の部活動の地域移行		P46 No5	教育委員会事務局 指導室
27	校内スモールステップルーム設置拡充とスクールソーシャルワーカー増員		P46 No3	教育委員会事務局 指導室
28	子育て世帯等定住促進事業		P39 No4	住宅課
◇ 災害に強い安全・安心なまちづくり				
29	関東大震災100年 記念展		P46 No8	地域教育支援課
30	新被害想定を踏まえた防災対策の再構築		P41 No3,No4	防災課
31	（その他震災100年関連事業） これからも人と人とのつながりで、未来の ‘すみだ ’を築いていく		P41 No5 他	防災課･厚生課
◇ 誰もが安心して暮らし続けられるまちづくり				
32	がん患者へのアピアランスケア支援		P36 No3	保健計画課
33	帯状疱疹任意予防接種費用助成		P36 No11	保健予防課
34	すみだの男女共同参画社会の実現		P28 No5,No7	人権同和･男女共同参画課
35	ひきこもり支援推進事業		P35 No2	厚生課
■「働き続けたいまち」の実現				
36	プロトタイプ実証実験支援事業		P33 No13	産業振興課
37	キャッシュレス普及促進事業		P33 No14,No15	産業振興課
38	大学と創る「ものづくりの未来」		P33 No16	産業振興課
■「訪れたいまち」の実現				
39	江戸に時めく2023 in すみだ		P33 No21	観光課
40	第九誕生200周年記念事業～国技館5000人の第九コンサート～		P31 No13	文化芸術振興課
41	すみだトリフォニホールを核とする音楽事業の推進		P31 No10	文化芸術振興課
42	東京2020レガシー継承事業		P31 No15	スポーツ振興課
■ シティプロモーション戦略				
43	すみだ北斎美術館特別展開催・展示ガイド導入		P30 No6	文化芸術振興課
44	すみだタウンミーティング事業の強化		P30 No2	地域活動推進課

1 産業振興「新時代」の幕開け！

‘産業共創’施設を錦糸町にオープン

予算額（新規）
１９８,０００千円

問合せ
産業振興課長
瀬戸 正徳　内線5431

1 目的

スタートアップ支援を軸とした区内産業の活性化を図り、新産業を創出するための拠点となる施設を、錦糸町駅近くに竣工した「ヒューリック錦糸町コラボツリー」４階部分に整備する。

2 主な事業内容

施設の開設、管理運営【198,000千円】（新規）

【施設コンセプト】

地域ネットワークを活用した「価値共創・交流・発信」拠点

「ものづくり」のまちとしての多様な産業集積と、お互いのつながりが強い地域ネットワークを生かしたイノベーションを通して、人々の生活や社会の課題解決を目指すスタートアップの支援を基盤とした施設とする。

3 開設時期

令和５年10月（予定）

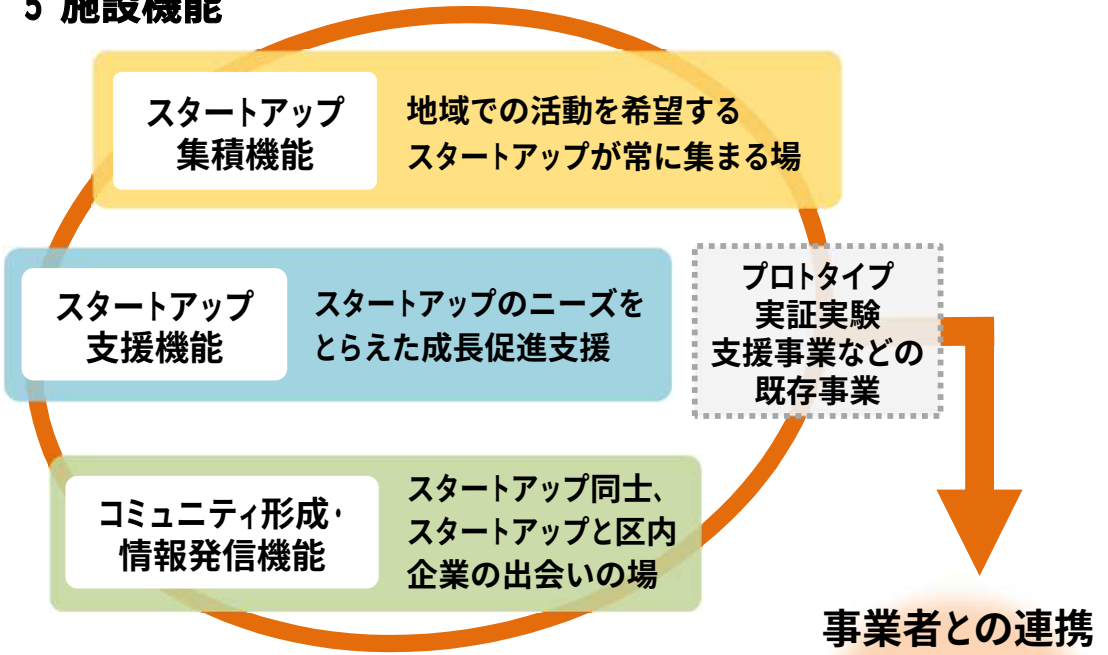
4 施設概要

【所在地】墨田区錦糸４－17－１
【構 造・規 模】 鉄骨造・地上７階
【延床面積】 約7,085㎡
【４階 区借上部分】 847.30㎡

※１～３階には（株）アストロスケールが入居予定

主なSDGs目標

5 施設機能



※現時点でのイメージであり、今後変更となる場合があります。

2 生涯健康都市の実現に向けて

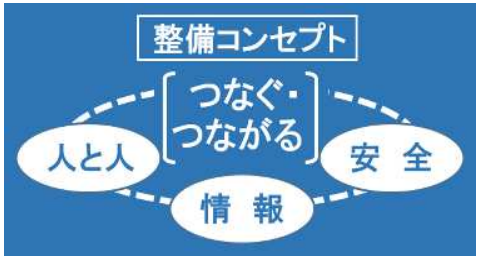
新保健施設等複合施設の建設

予算額（継続）
1,498,239千円

問合せ
新保健施設等開設準備室長
平山 千富　内線3521

1 目的

区民の健康づくりや母子保健、災害医療体制の拠点として、多様化する健康課題に迅速に対応するため、保健所・子育て・教育の機能を複合化した、総合的な保健施設の整備を行う。



2 施設概要

(1) 建設予定地

墨田区横川五丁目7番

(2) 整備スケジュール

令和4年3月15日 建築着工
令和6年度 竣工・開館（予定）

(3) 整備概要

敷地面積：約5,336㎡
建築面積：約2,716㎡(本体建物)
延べ面積：約9,640㎡(本体建物)
階　　数：地上4階
構　　造：鉄骨造

3 主な事業内容

建設工事等　【1,498,239千円】（継続）

令和6年度の完成・開設を目指し、建設工事と、円滑な移転に向けた準備を着実に進めていく。

主なSDGs目標

※令和3～6年度の継続事業を含む
令和4～6年度の債務負担行為額
【4,283,000千円】

完成イメージ

環境配慮

●「ZEB-Ready」取得
●「建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)」☆5(最高ランク)取得

機能連携イメージ

複合化のメリットを活かし、妊娠・出産から子育て、学齢期に至るまで切れ目ない支援の充実を図るため、「墨田区版ネウボラ」として組織の枠を超えた取組を進めていく。また、災害時には地域内輸送拠点や保健医療体制の拠点として機能する。

「墨田区版ネウボラ」イメージ

ポストコロナ時代に対応した「健康づくりの拠点」
“誰も取り残さない”全世代型地域包括ケアを実現

3 ～かわもつながる。墨田区～

江東内部河川整備事業

予算額（継続）
181,000千円

問合せ
都市整備課長
江波戸 史恭　内線3911

1 目的

墨田区内を縦横に流れる江東内部河川の護岸（低水路）を遊歩道として整備することにより、うるおいとやすらぎのある魅力的な水辺空間を創出する。

※　江東内部河川とは、荒川と隅田川に挟まれた江東三角地帯を流れる河川（計11河川）であり、区内には旧中川・大横川・北十間・横十間川・竪川・旧綾瀬川の6河川が流れている。

2 主な事業内容

(1) 横十間川修景施設整備工事【32,000千円】（継続）
横十間川（天神橋～神明橋間：延長約580m）の護岸上部に高木を植栽する。
また、遊歩道へアクセスしやすくするため、入口となる橋台地等を広場として整備する。

(2) 北十間川テラス連続化工事【149,000千円】（継続）
北十間川の西十間橋下のテラス（両岸）を連続化させるための工事を行う。

主なSDGs目標

3 事業イメージ

(1) 横十間川（天神橋～神明橋間）の橋台地等整備

(2) 北十間川（西十間橋下）のテラス連続化整備

4

踏切除却による渋滞解消・まちの活性化

とうきょうスカイツリー駅付近 東武伊勢崎線高架化等の推進

予算額（継続）
4,737,586千円
(1)立体化推進課4,722,383千円
(2)拠点整備課15,203千円

問合せ
立体化推進課長
戸梶 大　内線3991
拠点整備課長
前田 武　内線3981

1 目的

伊勢崎線第２号踏切（桜橋通り）を中心に、約０．９ｋｍの鉄道を高架化することで、踏切による交通事故の危険性や渋滞を解消し、安全で円滑な交通機能を確保するとともに、南北に分断されているまちの一体化を図る。

また、とうきょうスカイツリー駅北側の市街地については、鉄道の高架化や道路等の都市基盤整備を契機に、広域総合拠点にふさわしい魅力あるまちの形成を図る。

2 主な事業内容

(1) 東武伊勢崎線（とうきょうｽｶｲﾂﾘｰ駅付近）立体化事業 【4,722,383千円】（継続）

令和４年度に高架化切替を行った上り高架橋工事に引き続き、令和５年度は、下り高架橋と留置線高架橋（一部）工事を進める。

(2) とうきょうスカイツリー駅周辺整備事業 【15,203千円】（継続）

駅北側の市街地について、まちづくりのルール（地区計画等）の早期都市計画決定を目指し、地域住民とともに検討を進める。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

■ 東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）立体化事業

桜橋通り付近の高架化イメージ

とうきょうｽｶｲﾂﾘｰ駅新駅舎のイメージ

■ とうきょうスカイツリー駅周辺整備事業

昨年のまちづくり検討の様子

(仮称)押上駅北口交通広場等のイメージ

5

‘大学の知 ’を地域の力に！

大学のあるまちづくり

予算額（拡充）

１６７,９４４千円

問合せ
行政経営担当課長
岐部　靖文　内線3711
都市整備課長
江波戸 史恭　内線3911

1 目的

千葉大学･情報経営イノベーション専門職大学（iU）と連携し、教育環境の向上や、産業振興などにつなげていく。

2 主な事業内容

（1）大学との連携事業【39,000千円】（拡充）

【環境】緑化推進･雨水利用･環境教育
【教育】リテラシー育成に向けた連携･STEAM教育　等
【健康】健康度評価研究･健康増進支援システムの構築
【産業】ものづくりのまちの持続発展･AI活用　等

（2）あずま百樹園再整備工事

【115,800千円】（拡充）　※令和５･６年度債務

先行して整備しているキャンパスコモン(2023年３月完成)に引き続き、区立あずま百樹園を再整備する。また、大学と地域の交流の場となるよう、千葉大学のデザイン･建築･園芸の知見を活用する。園内に設置するトイレは、UDCすみだ主催のコンペで採用した大学生のアイデアをもとに設計した。

（3）UDCすみだ事業推進補助【13,144千円】（拡充）

･「未来ビジョン」で掲げる‘すみだ百計 ’を実行し、大学の知見を活用して地域課題の解決を図る。
･大学の活動を「見て･触れて･体験できる場」として千葉大学墨田サテライトキャンパス１階を運営する。
･都補助事業「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」の実施

主なSDGs目標

3 事業イメージ･その他

地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業

健康増進支援システム

シェア傘プロジェクト「スミカサ」

地域開放スペースの運営

あずま百樹園再整備事業イメージ（右図は学生発案の公園トイレ）

6

新しい複合施設が誕生します！

文化児童館移転整備事業

予算額（新規）
３６,６３９千円

問合せ
子育て政策課長
大八木 努　内線3401

1 目的

旧文花小学校跡地に、「児童館」と、同跡地に整備するテニスコートの「管理棟」との複合施設を整備し、築後40年以上が経過し、老朽化が進む文花児童館を移転する。

2 主な事業内容

(1) 整備予定地

墨田区文花一丁目32番

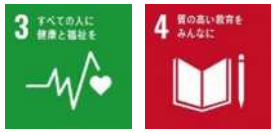
(2) 整備スケジュール（予定）

令和５年度	基本設計・地盤調査
令和６年度	実施設計
令和７年度	工事
令和８年度以降	文花児童館の移転（開設）

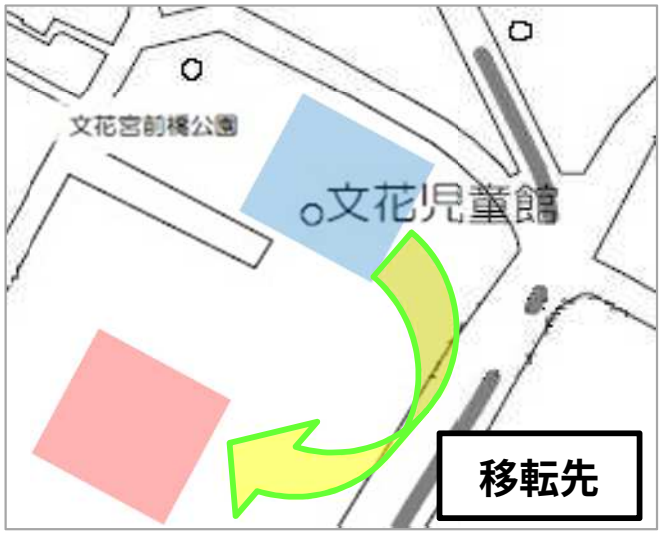
(3) 文花児童館移転整備事業【36,639千円】（新規）

令和７年度工事実施に向け、令和５年度に基本設計・地盤調査を実施する。

主なSDGs目標



現：文花児童館



ここに注目！

★約40年ぶりの新児童館誕生！
ゼロからの設計はさくら橋コミュニティセンター以来

★施設規模約１．５倍に！
現在：862㎡
⇒移転後：約1,200㎡

体育室の拡大（予定）
学童クラブ定員拡充（予定）

7

安心･快適な都市空間を創造します！

「文花二丁目南地区」地区計画に基づく道路整備事業

予算額（新規）
２３,０００千円

問合せ
都市整備課長
江波戸 史恭 内線3911

1 目的

「文花二丁目南地区」地区計画に基づき、来街者や地域住民のための安心･快適な都市空間を形成するため、道路のバリアフリー化及び修景整備（緑地帯･休憩施設）を行う。

2 主な事業内容

道路再整備基本･実施設計【23,000千円】（新規）

道路のバリアフリー化･修景整備を進めるための基本･実施設計を行う。

(1) 道路のバリアフリー化

バリアフリー整備により、誰もが安全で快適に移動できる道路･歩行空間として再整備する。

(2) 緑地帯の整備

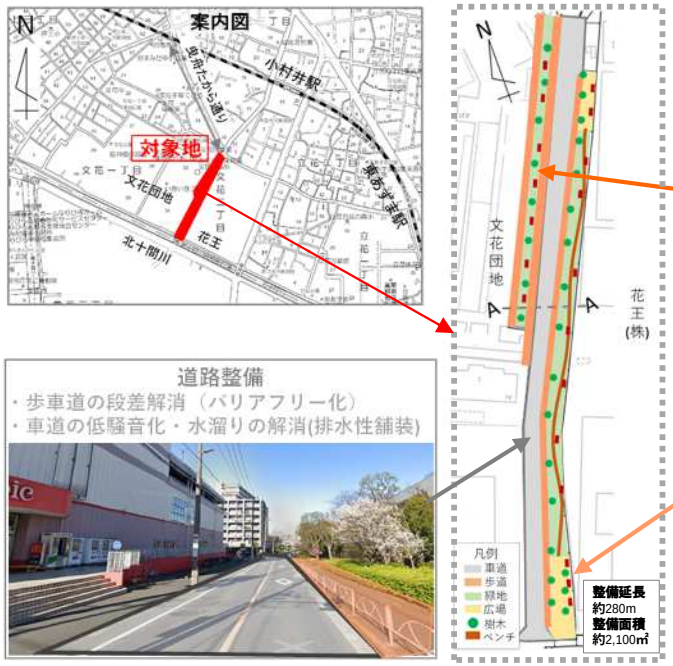
道路東側の緑地内に歩行者が安心･快適に通行するための歩行空間を整備し、北十間川テラスとの歩行者ネットワークを形成する。

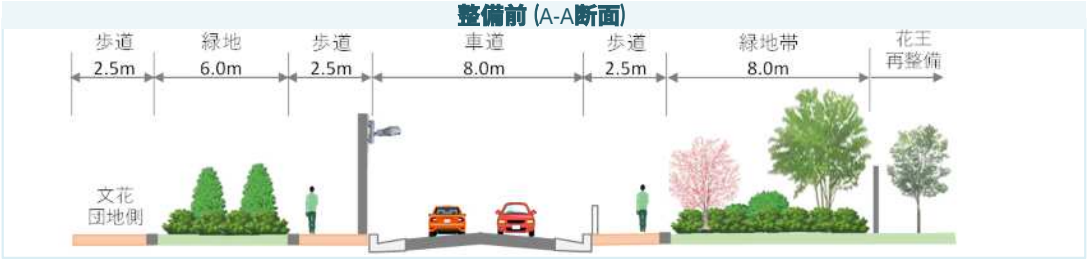
(3) 休憩施設の整備

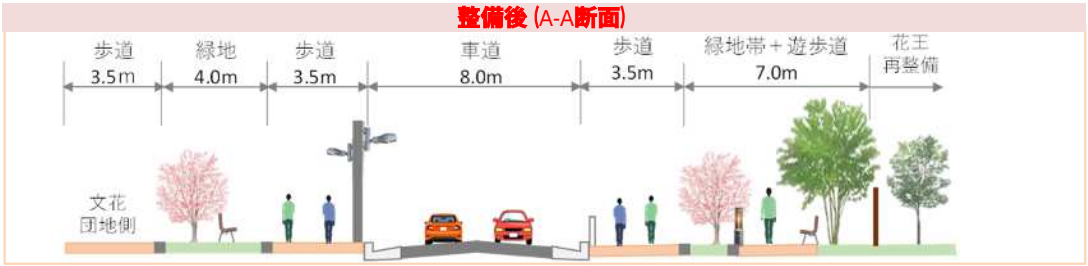
緑地内において、樹木の整理･更新や休憩施設（ベンチ･広場等）の整備を行い、来街者や地域住民のための憩いの場を創出する。

主なSDGs目標

3 事業イメージ







8

区内最大の児童館が誕生します！

八広児童館移設事業

予算額（継続）
656,617千円

問合せ
子育て政策課長
大八木　努　内線3401

1 目的

築後50年を経過した八広児童館の老朽化対策及び施設機能強化のため、先に廃止した旧すみだ健康ハウスへの移設を行う。また、児童館内に併設する学童クラブを拡充し、待機児童の解消を図る。

2 主な事業内容

(1) 施設概要

所在地：墨田区東墨田1－2－6
敷地面積：813㎡、延床面積：1,921㎡（1～3階のみ）
構造：RC造地上3階・地下1階建て

(2) 想定スケジュール

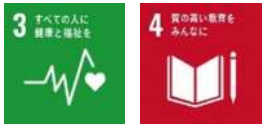
令和4年度：工事（令和5年1月～）
令和5年度：工事～竣工（4月～11月）
　　移設準備（12月～3月）
令和6年度：八広児童館の移設（開設）（4月～）

(3) 改修工事等【656,617千円】（継続）

令和5年度竣工、令和6年度開設の実現に向けて、改修工事及び移設準備が円滑に行われるよう進めていく。

※令和4年度の継続事業を含む令和4～5年度の債務負担行為額【1,056,064千円】

主なSDGs目標



令和6年4月　OPEN

★区内最小から区内最大の児童館に！（約4.6倍！）
現在：419㎡
⇒移設後：1,921㎡

★異次元の待機児童対策！（約2倍！）
学童クラブ定員：50名
⇒100名（予定）

★中高生も利用しやすい施設に！
音楽スタジオ・中高生エリアを整備

★児童館が多世代交流の拠点に！（区内初！）
多世代が交流できるよう調理室、会議室及び和室（貸出施設）を整備（登録団体のみ）

9 安全安心に住み続けられるまちづくりの推進

鐘ヶ淵周辺地区のまちづくり

予算額（継続）
77,308千円

問合せ
防災まちづくり課長
椎名 康明　内線3971

1 目的

当地区は、木造密集市街地であることから、「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」に基づき、防災性を高めるまちづくりに取り組んでいる。

また、東武伊勢崎線の鉄道立体化について、都が令和4年9月に「事業候補区間への位置づけ」を表明したことから、これを契機に、安全安心でにぎわいのあるまちづくりを推進する。

2 主な事業内容

(1) 鐘ヶ淵周辺地区まちづくり事業　【54,643千円】（継続）
（住宅市街地総合整備事業）

優先整備路線や公園の整備、建替え促進に取り組み、災害に強いまちづくりを推進する。

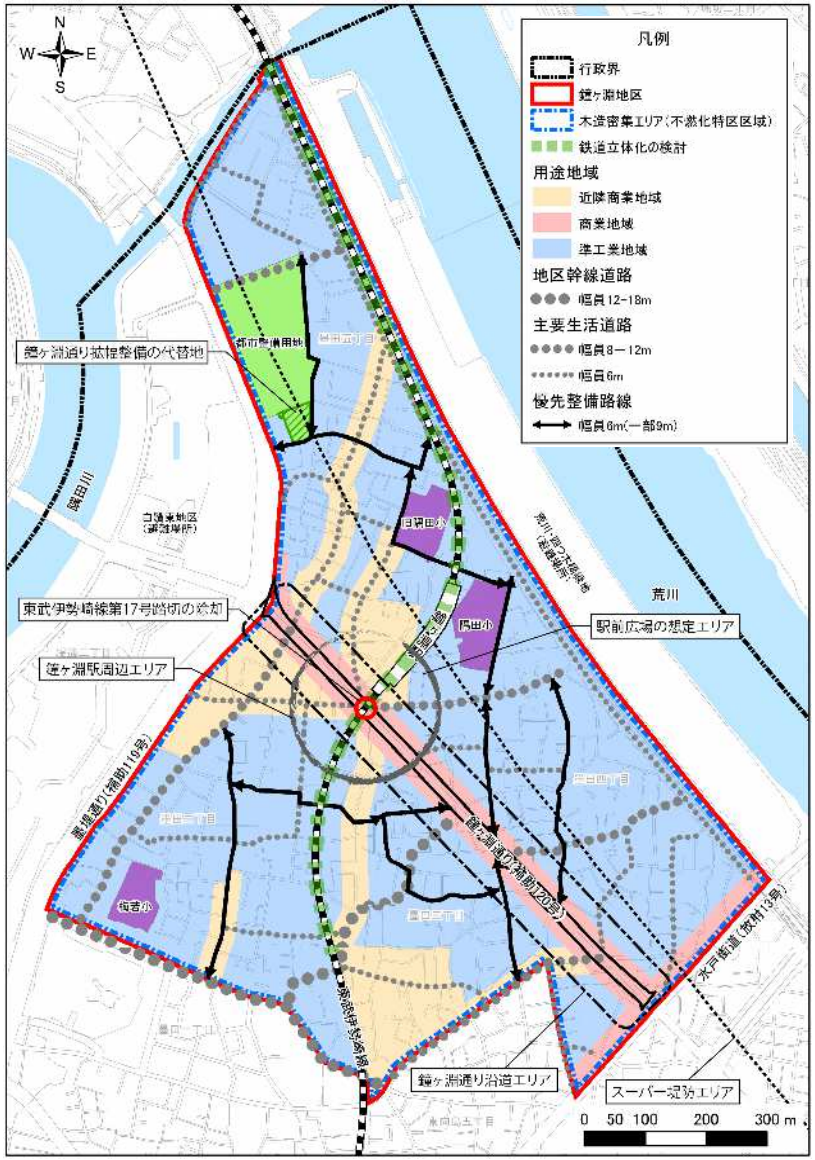
(2) 鐘ヶ淵駅周辺地区のまちづくり　【22,665千円】（継続）

鉄道立体化を見据えたまちづくり推進のため「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」の改定を行う。

また、交通ネットワーク構想案の作成や鐘ヶ淵通りの拡幅整備と一体的なまちづくりの検討を行う。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他



10 魅力ある日本庭園のリニューアル

隅田公園再整備事業

予算額（新規・継続）
167,400千円

問合せ
都市整備課長
江波戸 史恭 内線3911

1 目的

隅田公園の日本庭園から言問通りまでの範囲において、隅田公園の歴史的・文化的価値を最大限に発揮するとともに、公園の利便性や魅力が向上できるよう整備する。

2 主な事業内容

第2期再整備【167,400千円】

池の拡張、楕円園路、水際園路、芝生広場、交流広場の整備、築山の切下げ等の再整備工事、当該工事に伴う監督員補助業務（令和5・6年度債務）（新規・継続）

民間事業者によるカフェ等の施設設置に伴い区が設置する水道等のインフラについての設計（新規）

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

イメージ①

イメージ②

11 すみだの名産品がどこよりも揃う！

観光支援施設を新たにオープン

予算額（新規）
22,123千円

問合せ
観光課長
榊　健　　内線：5481

1 目的

「すみだモダン」をはじめとした区内産品のPR及び販売を行うとともに、ものづくりの実演やワークショップ等で、産業・観光のPRを行う。また、小梅橋船着場の観光舟運の活性化に向け、チケット販売等の機能も補完し、観光の拠点とする。

2 主な事業内容

観光支援施設のオープン【22,123千円】（新規）

東京ミズマチ®にある産業支援施設「すみずみ」の跡地に、観光の拠点として観光支援施設を新たにオープンする。

北十間川沿いの歩道を歩く方へのアプローチとして、新たに川沿いに出入り口を整備する。

(1) すみだ産品の販売

すみだモダンを始め、区内産品をどこよりも多く取り揃え、販売を行う。すみだを訪れる観光客には土産として、地元の方には、区内産品の新たな魅力を紹介する。

(2) 小梅橋船着場との連携

社会実験参加事業者と協力し、観光船の案内やチケットの販売など、観光舟運事業の更なる活性化と小梅橋船着場の利用促進を目指す。

(3) ものづくりの実演・ワークショップの開催

ものづくりの実演やワークショップを行い、気軽に入ってもらえるような仕掛けづくりを行う。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

12 にぎわいとうるおいのあるまちの実現に向けて

隅田川沿川地区まちづくり推進事業

予算額（新規・継続）
24,305千円

問合せ
都市計画課長
武井 勝人　内線3901

1 目的

蔵前橋～駒形橋周辺における隅田川沿川地区において、区民・事業者・行政が一体となり、持続的に成長する魅力あるまちを実現する。

2 主な事業内容

(1) 隅田川沿川地区まちづくり【4,305千円】（継続）

「隅田川沿川地区（蔵前橋～駒形橋周辺）まちづくり方針」※に掲げる「まちの将来像」の実現に向け、地区計画等の策定及び開発計画の誘導を行い、まちづくりを推進する。

※令和5年3月策定予定

(2) スーパー堤防整備に伴う道路整備事業【20,000千円】（新規）

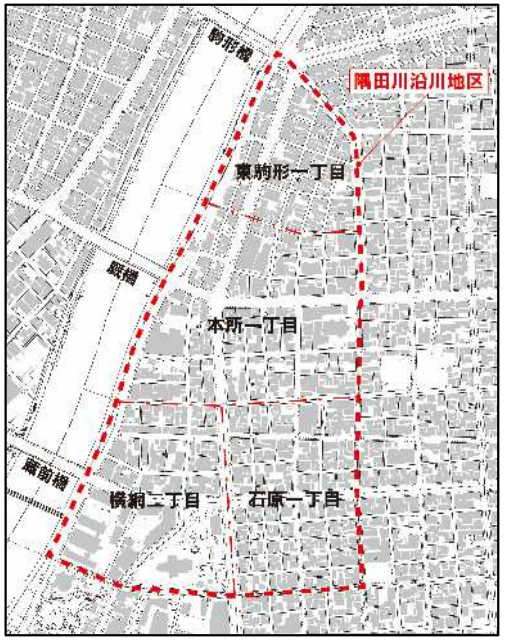
隅田川（本所一丁目地区）において、東京都が実施するスーパー堤防整備事業に伴い、隣接する区道整備の概略設計を行う。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

(1) 隅田川沿川地区まちづくり

まちづくり検討の様子（令和4年度）



対象区域

(2) スーパー堤防整備に伴う道路整備事業

スーパー堤防整備イメージ
（両国リバーセンター付近）

道路整備イメージ
（区役所庁舎付近）

13 区民の「命」と「健康」を守ります

新型コロナウイルス感染症対策
休日応急診療所における発熱外来の実施

予算額（継続）
９６,５１１千円

問合せ
保健予防課長
杉山　美奈子　内線3511
保健計画課長
杉崎　和洋　内線3501

1 目的

新型コロナウイルスの感染拡大防止や医療提供体制の強化など、区民の安全確保に医療機関や関係機関と連携し、全力を挙げて取り組み、新型コロナウイルス感染症から区民の「命」と「健康」を守る。

2 主な事業内容

(1) 墨田区発熱・コロナ相談センターの運営・その他感染症対策にかかる事業等　【86,540千円】（継続）

発熱時の行動や後遺症等、新型コロナウイルス感染症についての相談を受付ける窓口を開設及び積極的疫学調査等を迅速に行う体制を整備する。

その他感染症対応物品の借上げや業務委託などを行う。

(2) 疫学調査支援システム運用等経費　【4,246千円】（継続）

自宅療養者への健康観察等の疫学調査を迅速かつ確実に実施するためのシステムを運用する。

(3) 休日応急診療所における発熱外来の実施　【5,725千円】（継続）

日曜・祝日も診療・検査を受診できるよう、墨田区休日応急診療所において発熱外来を実施する。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

感染症拡大防止

■墨田区発熱・コロナ相談センター（専門相談）等人材派遣

各種問い合わせ対応・積極的疫学調査等

■疫学調査支援システム運用

システムによる健康観察等の
積極的疫学調査の実施

■休日応急診療所での発熱外来

日曜・祝日も診療・検査等を
受診できる体制の整備

14 持続可能な‘すみだ’の実現のために

SDGs未来都市推進事業

予算額（新規・継続）
6,500千円

問合せ
企画経営室副参事
（SDGs未来都市政策調整担当）
藤原 聖一郎　内線3761

1 目的

区民・事業者・区職員がSDGsの目標達成に向けて「ACTION！」を起こし、各主体が様々なステークホルダーとつながり、伝え合うことで「取組みの輪」を拡げ、持続可能な‘すみだ’を実現させる。

2 事業内容

(1) SDGs普及啓発事業等【4,870千円】（継続）

「SDGs未来都市」に選定されて、3年目を迎える年として、区内事業者、団体等が取り組む「ACTION!」を区報特集号で紹介し、SDGsに資する活動を区内全体へ発信する。

また、区民・事業者・区職員の意識向上を促し、身近なSDGsについて考えるプロモーション（区民参加型啓発活動）を開催する。

(2) すみだ未来都市共創会議【1,630千円】（新規）

SDGsの目標達成に向けて積極的に取り組む区内事業者、団体等がその先進的な活動内容を発表し、参加団体同士が相互に交流を行うことができる場と機会を創出する。

ひと、つながる。
墨田区

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

墨田区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

3 事業イメージ・その他

(1) SDGs普及啓発事業等

‘行動変容’と
‘取組の拡がり’をめざして！

▲区民参加型啓発活動
※令和4年度 ソラマチでの開催の様子

▲区報特集号イメージ

(2) すみだ未来都市共創会議

みんなで伝え合い、情報を共有し、一緒に取り組んでいく！

▲区内事業者、団体等が「ACTION！」を発表し、交流を行う。
※令和4年度に実施したタウンミーティングの様子

15

環境にやさしい、持続可能な‘すみだ’へ

ゼロカーボンシティの実現に向けた取組

予算額（新規・拡充）
28,130千円
(1)環境保全課25,000千円
(2)すみだ清掃事務所3,130千円

問合せ
環境担当参事
三浦　博司　内線5461
すみだ清掃事務所長
高村　弘晃　電話5608-6922

1 目的

区民・事業者・区が力を合わせて、環境にやさしい行動を加速させることで、2050年カーボンニュートラル及びSDGsの目標達成をめざす。

2 主な事業内容

(1) 地球温暖化対策助成事業費【25,000千円】（拡充）

新たに電気自動車所有者の必須アイテム「家庭用充電設備」と電力供給のひっ迫時や災害時に活躍する「ビークル・トゥ・ホーム（※）」導入への支援を開始（拡充予算 5,950千円）

自宅に太陽光発電システムがなくても助成対象とすることで、電気自動車の普及を加速させる。

拡充助成対象設備	予定件数	上限額	予算額
EV自動車用充電設備	26件	75千円	1,950千円
ビークル・トゥ・ホーム	10件	400千円	4,000千円

※ ビークル・トゥ・ホーム（V2H）
電気自動車（EV）等に搭載された電池から家庭に電力を供給できる機器

(2) 資源循環・地域連携促進補助金の創設【3,130千円】（新規）

ゼロカーボンシティ実現に結びつく先進的な資源循環事業に関する地域の取組との協働を進め、事業化に向けた補助金を支給する。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

(1) 地球温暖化対策助成事業費

墨田区のCO_2排出量は、107万1千t（2019年）
そのうち、自動車からの排出量が約15.5%

ガソリン車から電気自動車に乗り換えると…
CO_2削減量（1台）
約90kg/年

充電設備の一例

【電気自動車のメリット】
●走行中に排気ガスを出さず、環境にも健康にもやさしい！
さらにグリーンエネルギーで充電すればCO_2排出ゼロ
●ガソリンよりも安価な電気を使うので経済的！　など

自動車から家庭に電気を供給！
ビークル・トゥ・ホーム（V2H）のイメージ

(2) 資源循環・地域連携促進補助金の創設

ゼロカーボンシティの実現に向けて、地域と一緒に取り組みます！

16

プラスチックを「ごみ」から「資源」に！

廃プラスチックの分別収集・再資源化のモデル実施

予算額（新規）
98,052千円

問合せ
すみだ清掃事務所長
高村　弘晃
電話　5608-6922

1 目的

廃プラスチックを、「ごみ」として処理せず、「資源物」として有効利用することで、プラスチックの資源循環をさらに促進し、ごみの減量化と循環型社会の実現をめざす。

2 主な事業内容

廃プラスチックの分別収集・再資源化のモデル実施
【98,052千円】（新規）

小規模地域を対象に、分別収集・再資源化のモデル実施を行い、令和6年度中の本格実施を見据えた収集体制の構築と普及啓発活動を行う。

- 期間　令和5年10月～
- 対象　約30,000世帯（約5,000世帯×6地区）
- 方法　新たな回収曜日（プラスチックの日）を設定し、週1回、プラスチックを回収する。

【ここがポイント！】

区民生活の中で“よく目にする”集積所看板を一新！
新たなデザインは「千葉大学スタートアップ共同事業」として、大学の知見を取り入れながら作成する。

※区内約9,000箇所に設置
※令和5年度にデザイン作成、令和6年度に看板入替作業

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

廃プラスチックの影響で

気候変動　海洋汚染　など様々な問題が発生

廃プラスチックを資源物として回収
環境にやさしい持続可能な“すみだ”の実現へ

墨田区は、2021年に「SDGs未来都市」に選定されたとともに、『すみだゼロカーボンシティ2050宣言』を行いました。

現在：プラスチック → 燃やすごみとして回収 → 清掃工場へ搬入 → 焼却処分

今後：プラスチック → 資源物として回収（週1回、プラスチックの日） → 中間処理 → 再資源化

ひと、つながる。墨田区 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

資源物　プラスチック

令和５年10月～モデル実施

令和６年度 本格実施

プラスチック製容器包装

製品プラスチック

「資源物」として回収

17 一人ひとりの行動変容で「もったいない」を地域に届ける

食品ロス削減対策事業

予算額（新規）
6,135千円
(1)すみだ清掃事務所4,435千円
(2)厚生課1,700千円

問合せ
すみだ清掃事務所長
高村 弘晃　電話5608-6922
福祉保健部副参事
平井 千枝　内線3301

1 目的

食品ロス削減対策に取り組む各主体と連携し、官民一体となって啓発・推進し、食品ロスの発生抑制とともに、未利用食品の有効活用に努め、食品ロス削減、ごみの減量化及びCO_2排出量削減を図る。

この取組の一環として、フードパントリー等の運営団体へ補助を行うことで、食支援団体の利用促進を図り、必要に応じて生活困窮世帯等を適切な支援に繋ぎ福祉的支援の充実を図る。

2 主な事業内容

(1) 食品ロス対策拠点の整備と普及啓発

ア 食品ロス削減推進計画の作成【300千円】（新規）

イ 食品ロス対策拠点の設置【4,039千円】（新規）

立川ストックヤードを拠点とし、次の役割を担う。
・フードドライブで集めた食品の一括管理（収集、仕分、保管、配送）
・常設フードドライブ
・フードパントリーのイベント開催

ウ サルベージクッキングの開催【96千円】（新規）

家庭から出る未利用食材を持ち寄り、「地域の料理上手の方」と調理方法を考えながら、食品ロスについて学ぶ機会を創出する。

(2) フードパントリー等に対する利用環境整備補助

ア 利用環境整備運営補助【1,500千円】（新規）

通年で開催するフードパントリー等への補助【上限額】1団体10万円

イ 長期休み期間限定取組運営補助【200千円】（新規）

学校給食が提供されない夏休み等の長期休み期間中に特化して開催するフードパントリー等への補助【上限額】1団体5万円

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

食品ロス削減対策事業 概要図

※ □が主な墨田区の取組

区　民
イベントに参加
フードドライブ等に参加

食品ロス削減に向けた普及啓発
サルベージクッキング
未利用食材を有効活用して食品ロスを学びます！

墨田区のフードドライブ（常設・イベント回収）＋民間店舗等の常設フードドライブ
回収・運搬
回収から配送までの食品ロスの流通網を整備！
食品ロス対策拠点
立川ストックヤード（住所：墨田区立川2-9-5）
1.食品の一括管理（収集,仕分,保管,配送）
2.常設フードドライブ
3.フードパントリーのイベント開催
回収した未利用食品の配送

事業者
※提供方法の一例
未利用食品の提供
協力
民間フードバンク
未利用食品の提供

民間フードパントリー、子ども食堂・地域食堂
利用促進を図ることで、福祉的支援を充実！

ひと、つながる。墨田区
フードパントリー等に対する利用環境整備補助
補助経費例：周知チラシ作成費、光熱水費、感染症対策物資購入費など

18

だれでもカンタンに！必要な区政情報を入手

LINE区公式アカウント導入でさらなる情報発信！

予算額（新規）

2,409千円

(1)広報広聴担当2,002千円
(2)子育て支援課407千円

問合せ
広報広聴担当課長
南部　友孝　内線3611
子育て支援課長
石岡　克己　内線3441

1 目的

LINE区公式アカウントを導入し、多くの区民に即時性を持ったきめ細かい情報発信を行うことで広報広聴機能の強化と、シティプロモーションのさらなる推進を図る。

2 主な事業内容

(1) LINE運用支援ツールの導入【2,002千円】（新規）

・登録情報に応じたプッシュ型で行うセグメント配信により、きめ細やかで、即時性を持った情報配信を行う。
・区政情報への簡単なアクセス（リッチメニュー表示の実装）

(2) きずなメールの配信【407千円】（継続）

・登録した出産予定日やお子さんの誕生日に応じて、産前産後のケア情報や子育てのアドバイス、各種子育て情報を配信

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

19

ライフイベントにおけるＤＸの推進！

ニーズ対応型「おくやみコーナー」の設置

予算額（新規）
１０,７８０千円

問合せ
窓口課長
福谷 光広　内線3101

1 目的

身近な方の死亡に伴う事務は多種多様で分かりにくく、複数の窓口での手続が必要なため、遺族にとって大きな負担となっている。

そこで、専用窓口である「おくやみコーナー」を設置し、利用者に寄り添った支援を目指す。

2 主な事業内容

おくやみコーナーの設置【10,780千円】（新規）

(1) 設置場所
庁舎１階

(2) 開設時期
令和５年６月（予定）

(3) 運営方法
① インターネット又は電話による予約制とし、予約時に状況調査を行い、必要な行政手続を確認する。
② システムを活用し、手続に必要な書類に利用者の住所、氏名等を事前に記入・印字して準備する。
③ コーナー窓口では、簡単な案内から関係各課職員によるその場での手続まで、利用者のニーズに合わせて対応する。

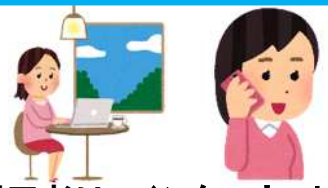
(4) 効果
庁内の行政手続を集約することで効率的かつ明確に案内することができ、あわせて、システムを利用することで手続にかかる時間を短縮することができる。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

予約受付から予約当日までの流れ

受付予約



利用者は、インターネット又は電話予約時に亡くなった方に関する情報（健康保険や年金等）を伝える。

専用窓口

おくやみコーナーの職員は、必要な庁内手続を把握・確認するため、関係各課に照会。

関係各課は、必要な手続の有無について回答するとともに、書類を準備。

予約当日

「おくやみコーナー」で冊子による案内や関係各課の職員による詳細な説明及び手続を行うなど、利用者のニーズに合わせて対応。

利用者の立場に合わせて要望を受け止める「ニーズ対応型」の「おくやみコーナー」を設置することにより、利用者に寄り添った支援を行う。

20 便利でおトクに！手続もカンタンに！

証明書郵送請求のキャッシュレス化

予算額（新規）
3,012千円

問合せ
窓口課長
福谷　光広　内線3101

1 目的

証明書の郵送請求に係る手数料の納付にキャッシュレス決済を導入することにより、請求者の利便性の向上及び事務の効率化を図る。

2 主な事業内容

(1) 証明書郵送請求業務へのキャッシュレス決済の導入
【3,012千円】（新規）　※23区初（全国初）

戸籍証明書や住民票の写しの郵送請求に係る手数料の納付にクレジットカード決済を利用できる独自のシステムを導入する。

ア　実証実験

事業効果を検証するため、郵送請求を数多く取り扱っている士業の団体や法人の協力を得て、昨年10月から12月にかけて実証実験を行った。

イ　効果

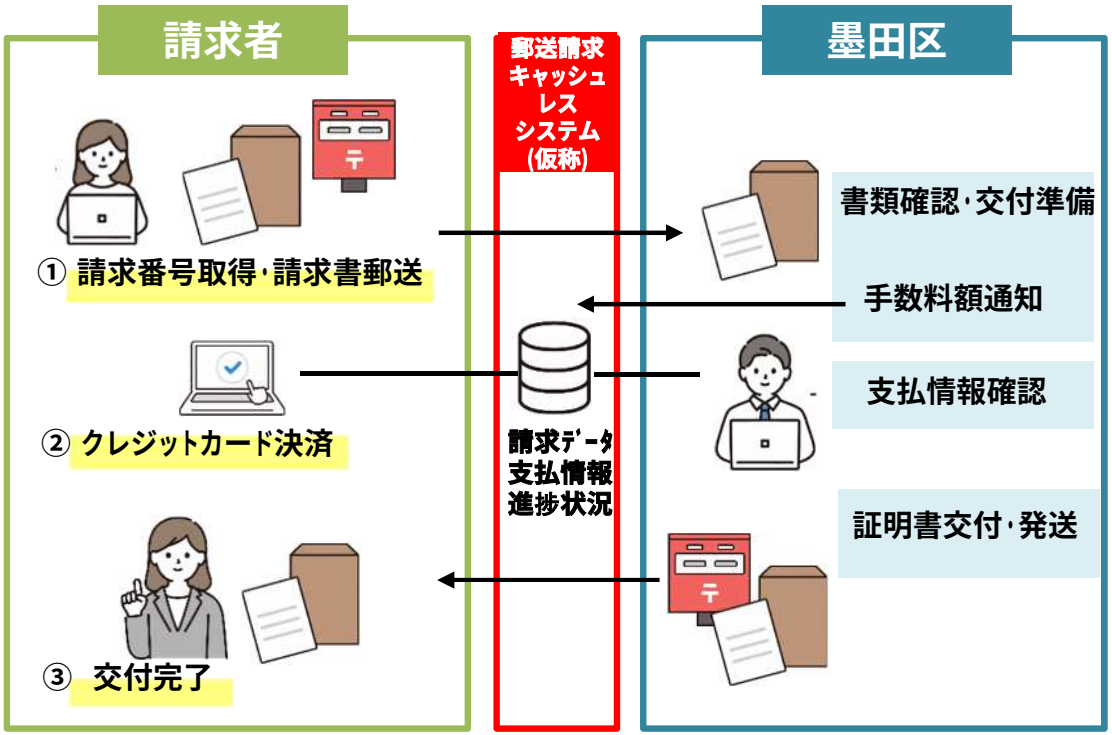
請求者にとっては、郵便小為替の購入の手間や負担がなくなるとともに、海外からの手数料の支払も円滑になる。

区にとっては、請求者との電話連絡や銀行への入金手続に係る負担が減少し、処理時間が短縮される。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

(1) 証明書郵送請求業務へのキャッシュレス決済の導入



従来の手続にあった「郵便小為替」を事前に同封する必要がなくなり、業務の煩雑さが改善され、請求から交付までの手続の短縮や事務の効率化が期待できる。

21 速い！簡単！便利！

学童クラブのDX推進でサービス向上！

予算額（新規）
1,265千円

問合せ
子育て政策課長
大八木　努　内線3401

1 目的

(1) 学童クラブの利用申請に、電子申請システムを導入し、区民サービスの向上を実現する。

(2) 申請データの入力業務に自動化ツールを導入し、業務の効率化を図る。

2 主な事業内容

(1) **学童クラブ利用申請のオンライン化**
現在、学童クラブの利用申請書は手書きで作成しているが、スマートフォンやPCから利用申請が出来るよう電子申請システムを導入し、オンライン化を図る。

(2) **RPA(※)ツールの導入【1,265千円】（新規）**
利用申請情報のシステムへの入力にRPAツールを導入し、業務の効率化を図る。
※ RPA（Robotic　Process　Automation）
あらかじめシナリオを作成しておくことで単純・反復的な作業をコンピュータに行わせるツール

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

現状

手書きで申請書作成

年間約3,000件の申請情報を手入力

導入後

スマートフォンやＰＣでオンライン申請

申請情報をＲＰＡツールで速く、正確に自動入力

22 誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化へ

高齢者ICT講習会等事業

予算額（拡充）
5,000千円

問合せ
高齢者福祉課長
澤田 敦子　内線3410

1 目的

高齢者向けICT講習会及び相談会を実施することにより、スマートフォンの基本操作等の習得を支援し、高齢者のデジタルデバイド解消を図るとともに、地域コミュニティの活性化及び世代間交流を推進する。

2 主な事業内容

高齢者ICT講習会等事業【5,000千円】（拡充）

(1) 高齢者ICT講習会の実施

民間事業者、iU 情報経営イノベーション専門職大学等と連携し、老人クラブの各地区の代表者を対象にスマートフォン講習会及びスマートフォンの貸出を行う。また、その他の区内高齢者向けにICT講習会も併せて行う。

(2) スマートフォン相談会（デジタル茶房）の実施

スマートフォンについての困りごと・不明点があった場合に、気軽に相談できる場として、スマートフォン相談会（デジタル茶房）を実施する。

3 事業イメージ・その他

主なSDGs目標

23 妊娠前からの切れ目ない妊娠･出産･子育て支援

墨田区版ネウボラの推進

予算額（新規･拡充）
544,416千円

問合せ
本所保健センター所長
岩瀬　均　電話3622-9137

1 目的

保健･子育て･教育を一体的に実施する、「墨田区版ネウボラ」（妊娠前から子育て期（概ね18歳）までの切れ目のない支援）の実現に向けた各種関連事業を実施･拡充する。

2 主な事業内容

(1) 妊娠前からの切れ目ない支援

ア　リプロダクティブヘルスの推進【1,717千円】（新規）
妊娠前からの健康づくり、望まない妊娠･出産の予防や相談支援等の取組を、地域関係者との連携のもと推進する。

イ　出産･子育て応援事業、他【465,378千円】（新規･拡充）
妊婦面接のリモート化、出産準備クラスの拡充、出産･子育て応援ギフトの配付及び伴走型相談支援、多胎妊婦への支援、生後1歳のバースデーサポート等の実施により、妊娠期からの切れ目ない継続支援を推進する。

ウ　産後ケア事業の実施【35,586千円】（拡充）
宿泊型及び日帰り型産後ケアの利用日数を拡充する。

(2) 母子保健DXの推進【41,735千円】（新規）

母子保健情報の電子化、情報連携、住民用Webサービス等の構築に向けたシステム整備を推進する。

主なSDGs目標

3 事業イメージ･その他

(1) 妊娠前からの切れ目ない支援

新 伴走支援①(妊婦面接)
新 出産応援ギフト(5万円分)配布

充 リモートによる妊婦面接
働く妊婦さん、安静が必要な方も安心して利用が可能

新 リプロダクティブヘルスの推進
将来の出産･育児に係る相談支援、妊娠前からの健康づくり等

充 出産準備クラスの拡充
委託化による事業の拡充、父親の育児参加促進

新 バースデーサポート事業
1歳児のいる家庭に育児パッケージを給付(1万円分)

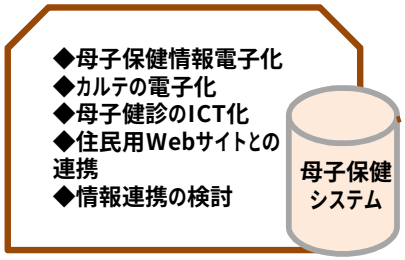
新 伴走支援②(妊娠8か月頃)

充 多胎妊婦健診助成(5回分追加)
充 助産師による多胎妊婦訪問を実施

新 伴走支援③(新生児訪問)
新 子育て応援ギフト(5万円分)配布

充 産後ケア事業の拡充
宿泊型(6泊7日へ)･日帰り型本格実施

(2) 母子保健DXの推進



新保健施設開設に向けて、住民の利便性向上も兼ね備えたシステムを整備

24 子育て世帯の負担を軽減

家事･育児サポーター事業

予算額（新規）
35,572千円

問合せ
子育て支援総合センター館長
坂田　勝彦　電話5630-6351

1 目的

妊娠期及び3歳未満の子どもを養育する家庭に家事･育児支援サービスを提供することで、出産･子育てに関する不安や孤独感の軽減を図る。

2 主な事業内容

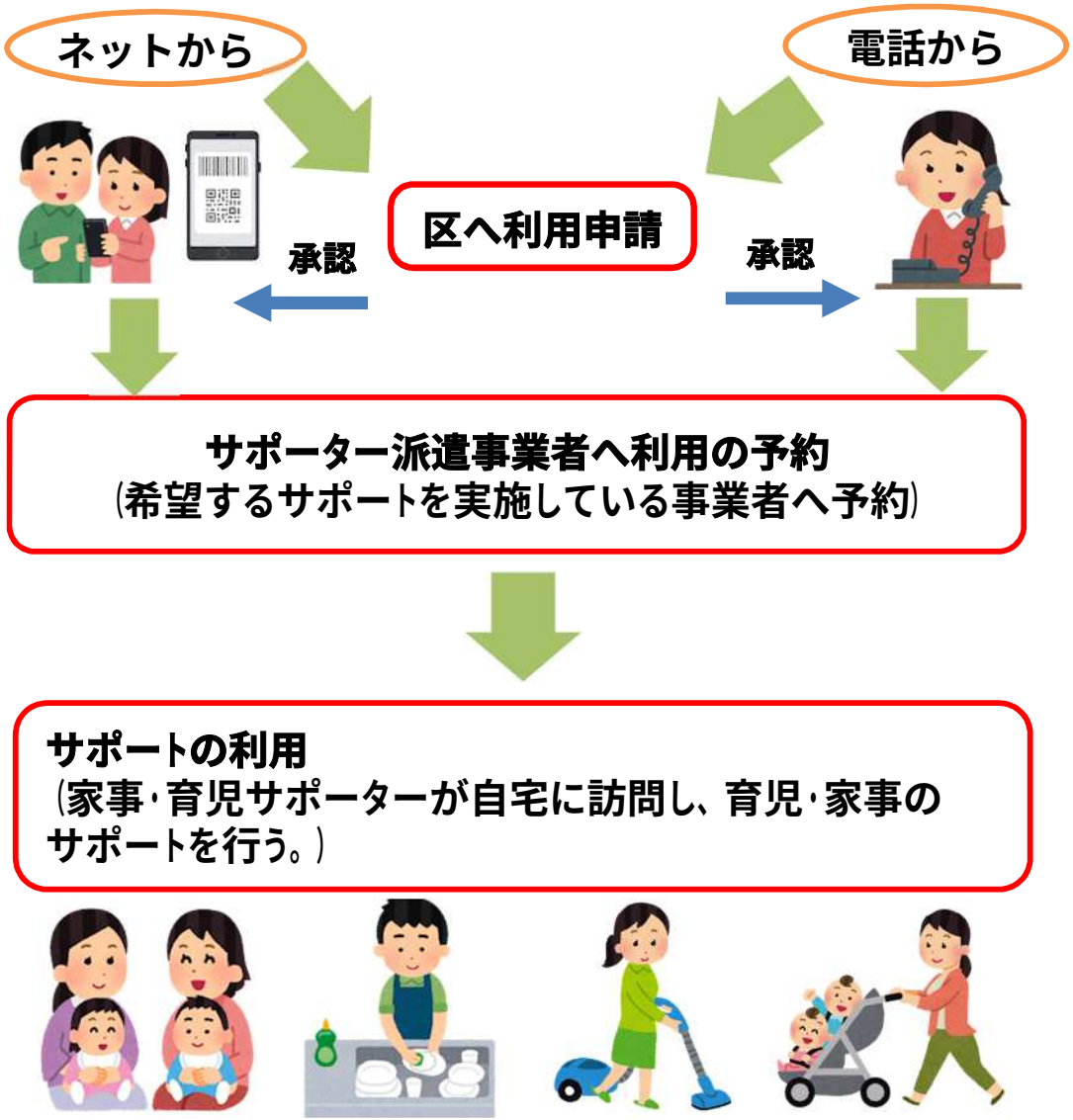
家事･育児サポーター事業【35,572千円】（新規）

妊娠期の方がいる家庭及び0歳から2歳までの子どもを養育する家庭へ、家事･育児を支援するサポーターを派遣する。

単体児	
妊娠期	20 時間
0歳	60 時間 （3歳未満の兄･姉がいる場合180 時間）
1歳･2歳	20 時間
多胎児	
妊娠期から0歳	240 時間
1歳	180 時間
2歳	120 時間

主なSDGs目標

3 事業イメージ･その他



25 より良い学び環境の実現に向けて

エデュケーションアシスタントの配置

予算額（新規）
53,079千円

問合せ
教育委員会事務局
指導室長
加藤　康弘　内線5140

1 目的

区立小学校に『エデュケーションアシスタント』を配置し、授業の質の向上、教員の負担軽減、学校の組織体制の充実を図り、子どもたちのより良い学びを推進するとともに、子育て世帯の定住促進につなげていく。

2 主な事業内容

エデュケーションアシスタントの配置【53,079千円】（新規）

(1) エデュケーションアシスタントとは

小学校1年生～3年生における副担任相当の業務を担い、教員を補佐する職として、①学習・生活指導の補助、②児童からの相談対応や登下校時の見守り、③学年・学級の経営上必要な業務全般の補助などを行う。

(2) 実施規模

区立小学校17校

(3) 配置

1校あたり1名（1年生～3年生までのいずれかの学年）

(4) 任用形態・勤務時間

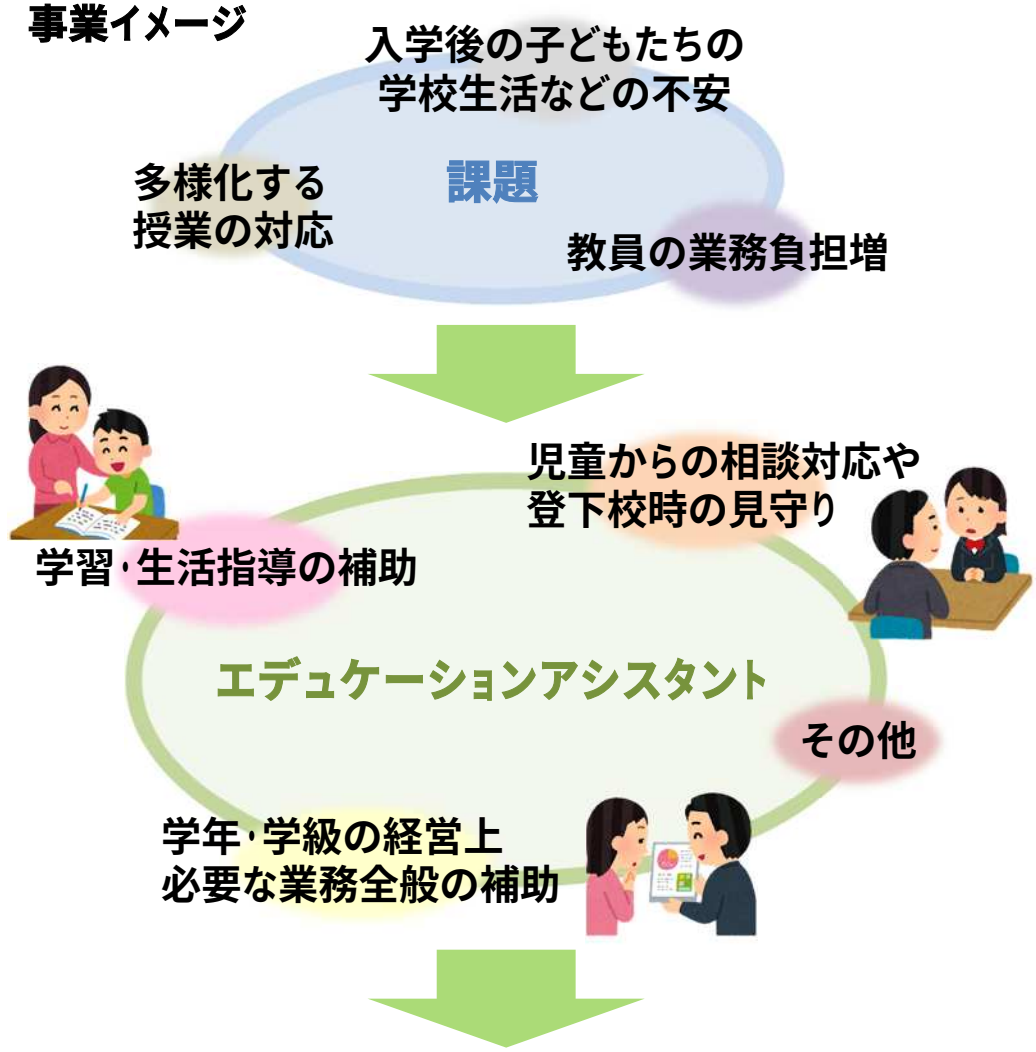
会計年度任用職員として任用し、週30時間勤務

(5) 補助金の活用

東京都補助金「エデュケーションアシスタント配置支援事業」を活用

主なSDGs目標

3 事業イメージ



子どもたちの学びの環境をより充実させ、もっと「暮らし続けたいまち」に！

26 地域のチカラで部活動をさらに活性化！

休日の部活動の地域移行

予算額（新規）
3,450千円

問合せ
教育委員会事務局
指導室長
加藤　康弘　内線5140

1 目的

区立中学校における持続可能な部活動の実施と、教員の負担軽減を図り、学校の部活動を段階的に地域へ移行する。また、地域資源を活用することにより、地域のさらなる活性化につなげていく。

2 主な事業内容

休日の部活動の地域移行【3,450千円】（新規）

- ○ 対象　・・・　区立中学校1～3年生
- ○ 活動形態　・・・　合同部活動等
- ○ 指導者　・・・　地域のスポーツ・文化芸術団体 等
- ○ 活動場所　・・・　学校や地域の施設
- ○ コーディネーター　・・・　指導者と学校との連絡調整 等

3 今後の予定

- ○ 令和5年度
  - ・モデル試行（運動部、文化部 それぞれ2つ）
  - ・効果検証、次年度に向けた実施計画調整　等
- ○ 令和6年度以降
  - ・順次地域移行

主なSDGs目標

4 事業イメージ・その他

※ 事業実施イメージ

地域のスポーツ・文化芸術団体等による指導

学校や地域施設を活用

コーディネーターによる連絡調整

ニーズに応じて**多様な活動機会**を確保！

持続可能な部活動の実施

教員の負担軽減

地域全体のさらなる活性化

27 不登校に悩む生徒の支援をさらに充実！

校内スモールステップルーム設置拡充とスクールソーシャルワーカー増員

予算額（拡充）
２４,８７９千円

問合せ
教育委員会事務局
指導室長
加藤 康弘　内線5140

1 目的

不登校の未然防止及び段階的な教室復帰を目的に、中学校に校内スモール・ステップルーム（以下、「校内ＳＳルーム」という。）の支援員を配置し、生徒一人一人に応じた支援の充実を図る。

スクールソーシャルワーカー（以下、「ＳＳＷ」という。）を増員し、課題を抱える児童・生徒やその家庭への支援の充実を図る。

2 主な事業内容

（1）校内ＳＳルームの拡充【12,261千円】（拡充）

現在の区立中学校４校を全10校に拡充し、不登校の初期段階にある生徒や中・長期化した不登校から教室復帰を目指す段階にある生徒を対象に、支援員が教員の管理の下で、生徒の学習支援や相談など、個々の支援を行う。

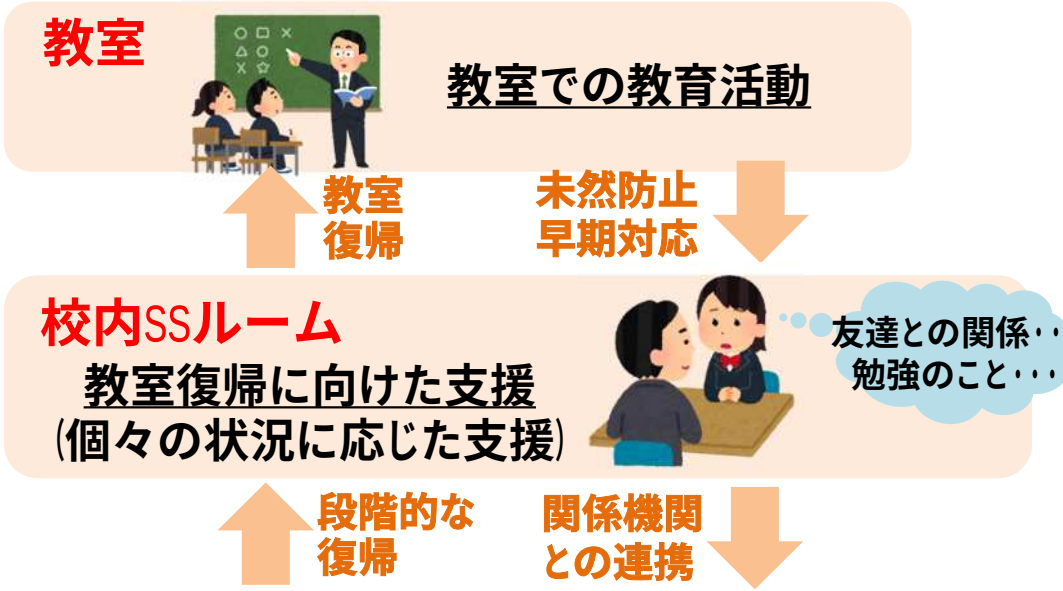
（2）ＳＳＷの増員【12,618千円】（拡充）

現在の４名から７名に拡充し、課題を抱える児童・生徒や福祉との連携が必要な家庭等を対象に、家庭訪問等を通して支援を行うとともに適切な支援について学校に指導・助言を行う。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

（1）校内ＳＳルームの拡充



（2）ＳＳＷの増員

28

子育て世帯･若年夫婦世帯の確実な定住を！
「すみだ住宅取得利子補助制度」を開始！

子育て世帯等定住促進事業

予算額（新規）
15,000千円

問合せ
住宅課長
秋山　和栄　内線3931

1 目的

将来の人口減少･少子高齢化に備えるために、地域の担い手となる子育て世帯や若年夫婦世帯の確実な定住を目指すとともに住み続けられる取組を推進する。

2 主な事業内容

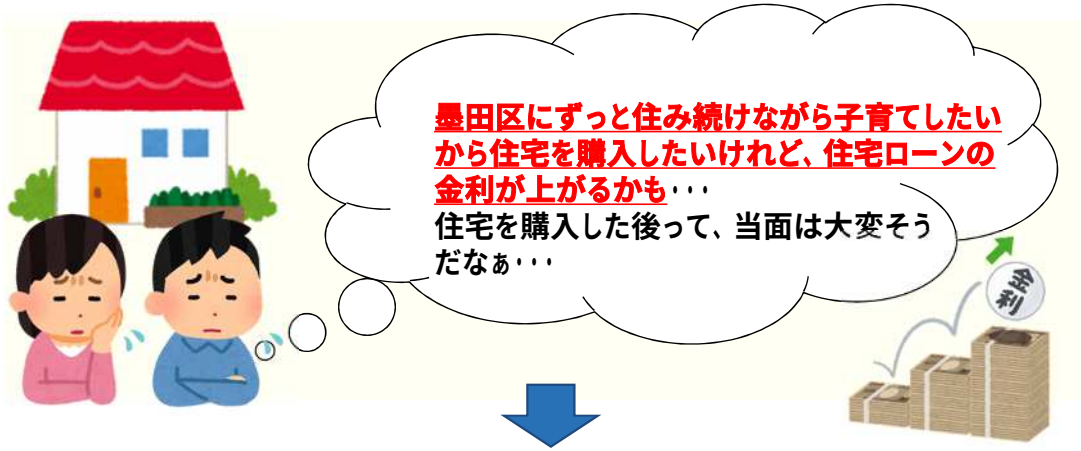
すみだ住宅取得利子補助制度【15,000千円】（新規）

子育て世帯と若年夫婦世帯※が負担する住宅ローンの利子を年間10万円を上限に最大5年間助成する。
（どの金融機関の住宅ローンでも利用可能）
なお、本制度を利用できる方を対象に、（独）住宅金融支援機構の「フラット35地域連携型」の利用も可能となるように、準備を進めている。

引用：（独）住宅金融支援機構HP

主なSDGs目標

※子育て世帯：中学生以下の子どもがいる世帯
若年夫婦世帯：夫婦いずれもが40歳未満の世帯



そんな悩みを抱える**子育て世帯と若年夫婦世帯**に！！！

1年間で支払った利子額（10万円上限）×5年間（最大50万円）を補助

金融機関の指定なし

区内全域対象

所得制限なし

利子補助で負担を軽減 → 住宅取得を後押し → 子育て世帯等の確実な定住を促進！

29 過去の災害に学び、未来につなげる

関東大震災100年 記念展

予算額（新規）
3,387千円

問合せ
地域教育支援課長
堀　啓一　内線5151

1 目的

関東大震災から100年という節目を迎え、区内の人々の体験や被害の実態、復興の歩みを紹介する。
実施にあたっては、区内の震災・防災関連施設である東京都復興記念館、本所防災館と連携することで、事業効果を高め、区民の防災意識の向上につなげる。

2 主な事業内容

すみだ郷土文化資料館　企画展
「関東大震災100年 -すみだの被害と復興（仮称）」
【3,387千円】（新規）

100年前の震災は、「どんな地震でどのような被害が生じたのか」、「復興はどうなされたのか」、当時の写真や各種展示品などの関連資料を通じて紹介する。
また、連携する3館を巡るスタンプラリーや、区内フィールドワーク（史跡めぐり）を実施することで、展示内容の理解を深めていく。

主なSDGs目標

3 展示イメージ

▲関東大震災時の旧国技館

▲震災時の大日本麦酒付近
（現在のアサヒビール本社付近）

30　関東大震災から100年

新被害想定を踏まえた防災対策の再構築

予算額（新規・拡充）
16,378千円

問合せ
防災課長
山中　淳一　内線3551

1 目的

新たな被害想定や社会環境の変化等を踏まえた防災上の課題を整理し、より具体性・実効性のある防災対策を再構築することで、様々な災害への対応を強化する。

2 主な事業内容

(1) **墨田区地域防災計画の改定【9,500千円】（拡充）**

「首都直下地震等による東京の被害想定」の公表を受け、より具体性・実効性のある計画とするため、墨田区地域防災計画の改定を行う。

(2)「（仮称）地震ハザードマップ（ガイドブック）」の発行**【6,878千円】（新規）**

地震等の備えに関する各種パンフレットを1冊に集約化するとともに、デザインや内容を刷新し、区民にとってより分かりやすいガイドブックとして発行する。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

墨田区地域防災計画の改定

より具体性・実行性のある計画をめざします

（仮称）地震ハザードマップ（ガイドブック）の発行

これらのパンフレットを1冊に集約！

防災情報を区民に広く伝えます

防災対策の再構築

31

関東大震災から100年
これからも人と人とのつながりで、未来の‘すみだ’を築いていく

予算額（新規・拡充・継続）
640千円
(1)防災課390千円
(2)厚生課250千円

問合せ
防災課長
山中　淳一　内線3551
厚生課長
若菜　進　内線3351

1 目的

関東大震災から100年の節目を捉え、多様な主体との連携による地域防災力の向上、地域福祉や地域コミュニティを支える担い手の育成など、誰もが住みなれた地域で安心して、いきいきと暮らし続けられるまちづくりの推進を図る。

2 主な事業内容

(1) 防災フェアの拡充

ア 防災シンポジウムの開催【216千円】(新規)
基調講演・パネルディスカッション等を実施する。

イ 防災展等の開催【174千円】(拡充)
関東大震災の写真等のパネル展示に合わせ、資器材・備蓄品等の展示や、不燃化・耐震化助成の相談コーナー設置を実施する。

※地域学セミナー前期講座（予定）
すみだ生涯学習センター（地域活動推進課所管 指定管理者施設）で、7～8月頃、「地域学セミナー（前期講座）」として、「関東大震災100年と防災」をテーマとした全4回の連続講座などを予定

(2) 地域福祉ボランティアフォーラムの開催【250千円】（継続）

震災復興から現在までの地域福祉とボランティア活動の推移を学ぶとともに、参加者同士のディスカッション等を通して今後の姿を一緒に考える機会とする。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

防災フェアの拡充

防災週間
8月30日～9月5日
前後に開催予定

地域福祉ボランティアフォーラムの開催

これからの地域福祉・ボランティア活動をみんなで考える

すみだ
ボランティアの日
7月1日に開催

会場では、ボランティア団体の紹介も行います

32 一人ひとりのニーズに合ったQOL向上を目指して

がん患者へのアピアランスケア支援

予算額（新規）
2,100千円

問合せ
保健計画課長
杉崎　和洋　内線3501

1 目的

抗がん剤や放射線治療の影響による脱毛や手術による乳房切除など、がん治療による外見の変化によって社会参加への不安を抱える方が存在する。

そこで、ウィッグ等補整具の購入費用を助成し、少しでも経済的負担を軽減することで、社会生活の向上を図る。

2 事業内容

ウィッグ等購入費用助成　【2,100千円】（新規）

ウィッグや補整下着等の購入またはレンタルに係る費用について、1回限り上限額を3万円として助成する。

※個数制限なし、ウィッグと胸部補整具を併せての申請可。

ウィッグの例

胸部補整具の例

主なSDGs目標

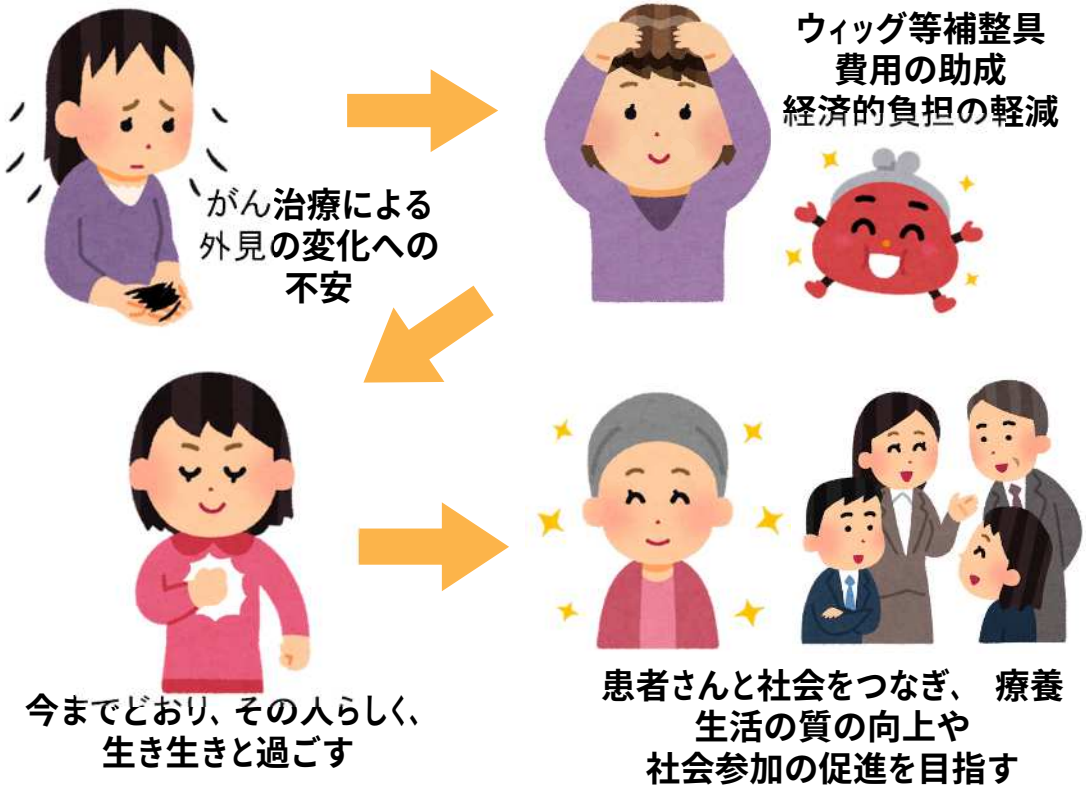
3 事業イメージ・その他

アピアランスケアとは？

がん治療による外見の変化などからくる、気持ちの辛さを和らげるケアのこと。

事業のイメージ

アピアランスケア支援を通して、がんを患っても、社会とのつながりを持続できるよう、サポートを行う。



33 ワクチン接種で予防ができます！

帯状疱疹任意予防接種費用助成

予算額（新規）
24,285千円

問合せ
保健予防課長
杉山　美奈子　内線3511

1 目的

区民の帯状疱疹の発症予防及び重症化防止のために、任意予防接種の一部費用助成を実施する。

2 主な事業内容

帯状疱疹任意予防接種費用助成【24,285千円】（新規）

・対象者
これまでに予防接種を受けたことのない50歳以上の区民

・接種方法
電話等で主管課に申込み後、受領した予防接種予診票を実施医療機関に持参して接種

・対象ワクチン
生ワクチン（接種回数：1回）
不活化ワクチン（接種回数：2回）

・助成金額
生ワクチン　4,000円×1回
不活化ワクチン　10,000円×2回
※接種費用と助成金額の差額を医療機関窓口で支払う。
助成金額は接種費用の概ね半額程度。

主なSDGs目標

帯状疱疹とは？
水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気で、痛みを伴う赤い斑点と水ぶくれが帯状に生じる。
また、帯状疱疹後神経痛などの後遺症が残る場合もある。
80歳までに３人に１人が発症すると言われている。

申込み
電話等で保健所に予防接種の費用助成を申し込む。

予診票の発送
申込みを受け、予防接種の費用助成に必要な予診票等を送付。

予防接種の実施
届いた予診票に必要事項を記入して、実施医療機関で接種し、助成額との差額を医療機関の窓口で支払い。

34 多様な生き方を認め合いましょう

すみだの男女共同参画社会の実現

予算額（新規）
1,894千円

問合せ
人権同和・男女共同参画課長
野澤典子　内線5221

1 目的

男女間の格差解消を目指すとともに多様な性が尊重される「すみだの男女共同参画社会」の実現を図り、男女の格差解消と、性的指向や性自認等を理由とする差別や偏見の解消を目指す。

2 主な事業内容

(1) 講演会実施と啓発冊子作成【1,539千円】（新規）
改正した条例の内容や、目指す「すみだの男女共同参画社会」について、講演会や啓発冊子で普及を図る。

(2) 性的指向・性自認に関する電話相談【341千円】（新規）
誰にも性のあり方について相談できず、一人で悩みを抱えている方やその家族、関係者等が相談でき、いきいきと安心して生活することのできる環境をサポートする。

(3) 墨田区パートナーシップ宣誓制度【14千円】（新規）
パートナーシップ関係にある2人に、受理証明書及び受理証明カードを発行する。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

(1) 講演会実施と啓発冊子作成

令和5年4月1日施行！

墨田区女性と男性及び多様な性の共同参画基本条例

普及

・講演会を開催（5月頃）

・啓発冊子の作成、配布

(2) 性的指向・性自認に関する電話相談

・専門員に相談できる！
・家族等も相談OK！

(3) 墨田区パートナーシップ宣誓制度

パートナーシップ関係にある2人の宣誓

受理証明書と受理証明カードを交付

生活上の困り事軽減に活用！！

35 誰一人取り残さない地域共生社会を目指して！

ひきこもり支援推進事業

予算額（新規）
9,300千円

問合せ
福祉保健部副参事
平井　千枝　内線3301

1 目的

ひきこもりで悩んでいる方やその家族からの相談を受け止め、本人が望む解決に向けて、伴走支援を行う体制を構築し、誰一人取り残さない地域共生社会の実現を目指す。

2 主な事業内容

(1) ひきこもり支援専用相談窓口の設置等

【7,600千円】（新規）

ア　専用相談窓口

対面での相談だけでなく、ひきこもりで悩んでいる方の状況に寄り添い非対面で電話やメールで相談ができる「ひきこもり支援専用相談窓口」を設置する。

イ　家族会

ひきこもりで悩んでいる家族等を中心とした家族会を開催する。そこで、自立に向けたアドバイスや支援に関する講演会を実施する。

(2) ひきこもり支援専用WEBサイトの開設

【1,700千円】（新規）

ひきこもりに対する正しい理解の周知を図るとともに、ひきこもりで悩んでいる方や家族が地域から孤立しがちな状況を踏まえた上で分かりやすい情報を発信する。

主なSDGs目標

36 すみだのよりよい未来に向けた社会実験！

プロトタイプ実証実験支援事業

予算額（新規・拡充）
47,500千円

問合せ
産業振興課長
瀬戸 正徳　内線5431

1 目的

地域が抱える様々な分野の課題に対して、区内外のスタートアップ企業等と連携し、その企業が持つ製品やサービスを試作段階（プロトタイプ）から地域内で導入することで解決を図り、持続可能でよりよい社会づくりを目指す。

2 主な事業内容

プロトタイプ実証実験支援事業【47,500千円】

(1) 開発・改良パターン　最大新規2件、継続1件（拡充）
区内企業と連携したハードウェアの開発改良を伴う実証

(2) 導入パターン　最大新規2件、継続4件
スタートアップが有するソリューションを地域課題に適合させる実証

(3) 大学連携パターン　最大新規1件（新規）
区内の大学、大学発スタートアップと連携した実証

(4) 令和4年度成果プロモーション（新規）
令和4年度に実施した実証実験5件の成果を披露するイベントの開催
新たにオープンする「産業共創施設（資料番号1）」での開催を想定（時期等の詳細は未定）

主なSDGs目標

3 令和5年度事業実施イメージ

(1) 開発・改良パターン

R4採択事業　ジャンル：環境　スタートアップ：WOTA㈱
雨水を水源に小規模水循環システムを稼働、水再生循環技術の安定性を確認

＋

(2) 導入パターン

R4採択事業

ジャンル：防犯　事業者：㈱ABAL
VR上での詐欺再現による講座等の学習効果の向上を実証

ジャンル：産業　事業者：㈱セラピア
業務改善アプリ内製化によるデジタル人材育成の土台の形成

ジャンル：健康・福祉　事業者：㈱moff
健康プログラムでの身体及び認知機能向上等への寄与の検証

ジャンル：教育　事業者：㈱うちゅう
探求教育プログラム実施による生徒の関心度・行動変容の検証

＋

New (3) 大学連携パターン

＋

New (4) 令和4年度 成果プロモーション

37 お買い物も、飲食も、体験も。 お得に満喫！

キャッシュレス普及促進事業

予算額（新規・継続）
490,000千円

問合せ
産業振興課長
瀬戸　正徳　内線5431

1 目的

墨田区商店街連合会と連携し、キャッシュレス決済を活用することで、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で大きな打撃を受けている区内事業者を、力強く支援する。

2 主な事業内容

(1) キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業 【440,000千円】（継続）

区内の対象店舗でキャッシュレス決済を利用した場合に、決済金額に応じたポイントが後日還元されるキャンペーン（第5弾）を実施する。

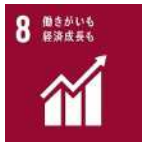
(2) すみだまるごとバルウォーク【50,000千円】（新規）

「食」だけでなく「もの・コト」を巻き込んだ区内全域でのバルウォークイベントを開催する。チケットにはプレミアムを付与し、来客増と効果的なＰＲを図ると同時に、スマホによるデジタルチケットによって非接触取引を実現する。

【ここがポイント！】

・ポイント還元事業で付与されたポイントでバルウォークのチケットを購入することが可能。プレミアム付チケットでさらにお得な体験を！
・2つの事業を連続して実施し、区内のキャッシュレス経済圏を創出！

主なSDGs目標



キャッシュレス決済で 商店支援＆消費喚起！

ひと、つながる、墨田区 × 墨田区商店街連合会

(1) キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業

区内対象店舗でのキャッシュレス決済でポイント還元

(2) すみだまるごとバルウォーク

プレミアム付きのチケット購入でお得に区内の対象店舗を周遊

※還元されたポイントでも購入可能！

38 空き工場改修やAIで区内産業をアップデート

大学と創る「ものづくりの未来」

予算額（新規・継続）
4,500千円

問合せ
産業振興課長
瀬戸　正徳　内線5431

1 目的

「ものづくりのまち すみだ」の持続・発展のために、千葉大学と区内ものづくり事業者等の公民学連携により、空き工場の改修や、職人技術のAI学習などを行う。

2 千葉大学と連携する事業内容

(1) 空き工場を「新しい産業を創る場」に【1,500千円】（継続）

区内の空き工場等を改修して、新たなビジネスやものづくりを創造する場にリノベーションする「すみ創プロジェクト」を推進する。

(2) 伝統工芸の継続に向けた改善策をつくる【1,000千円】（継続）

ライフスタイルの変化に伴う伝統工芸品の使われ方の変遷等を調査し、伝統工芸の継続に向けた改善策を提案する。

(3) 廃材で子どもの創造性を養う【1,000千円】（継続）

町工場の廃材を「循環型素材」として活用する、子ども向けワークショップを区内各地で開催することを想定したテスト事業を実施する。

(4) 職人の技術をAIで学習する【1,000千円】（新規）

町工場がAIを活用するモデル事例として、印刷職人の色調整の技術をAIに学習させることで、ものづくり技術の継承を図る。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

(1) 空き工場を「新しい産業を創る場」に

↑改修予定の空き工場の内部

(2) 伝統工芸の継続に向けた改善策をつくる

↑デザイン文化を研究する学生が職人にヒアリング

(3) 廃材で子どもの創造性を養う

↑「循環型素材」として活用する町工場の廃材

(4) 職人の技術をAIで学習する

↑AIによる画像処理を研究する学生が職人の技術を研究

39 勝海舟生誕200周年&池波正太郎生誕100周年

江戸に時めく2023 in すみだ

予算額（新規）
4,500千円

問合せ
観光課長
榊　健　　内線5481

1 目的

勝海舟と池波正太郎、2人のすみだゆかりの偉人をキーワードに、港区・台東区・大田区等の他自治体と連携しながら、江戸から続く地域の歴史文化を学ぶ機会を創出し、まち歩き観光に繋げる。

2 主な事業内容

(1)「見たい！知りたい！勝海舟」パネル展

【1,000千円】（新規）

江戸城無血開城を成し遂げ、今の東京の礎を築いた幕末の偉人・勝海舟は文政6（1823)年、現在の両国四丁目に生まれた。その偉業と歴史を体感するパネル展を実施する。

(2) 舟運を活用した勝海舟ゆかりの地巡り

【1,000千円】（新規）

他区と連携し、勝海舟のゆかりの地を巡る企画や、舟運を活用した広域連携事業を実施する。

(3) 池波正太郎生誕100周年記念講演会

【2,500千円】（新規）

生誕記念映画が公開されることに合わせ、鬼平犯科帳など池波正太郎作品に登場するスポットを、すみだ観光ガイドや、池波正太郎作品と関わりの深い著名人が紹介する。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

江戸を「知る」

「見たい！知りたい！勝海舟」パネル展(仮称)
→勝海舟の生涯・ゆかりの地・街歩きコースの紹介等

江戸を「巡る」

舟運を活用した勝海舟ゆかりの地巡り
→ 両国リバーセンター発～吾妻橋船着場（勝海舟像）～日の出桟橋着

江戸に時めく
2023 in すみだ

江戸を「感じる」

池波正太郎生誕100周年記念講演会
「時代小説に描かれた江戸の街(仮称)」
→区内スポットの紹介・記念映画のプロモーション等

40

5年ぶり！すみだと第九とベートーヴェン

第九誕生200周年記念事業

～国技館5000人の第九コンサート～

予算額（拡充）

9,000千円

問合せ
文化芸術振興課長
岩本 健一郎 内線5451

1 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により開催が見送られてきた「国技館5000人の第九コンサート」について、5年ぶりに再開を目指す。

また、令和6年（2024年）は、ベートーヴェン作曲の「第九」が誕生してから200年目を迎え、この記念すべき年に事業を実施する。

2 主な事業内容

第九誕生200周年記念事業　【9,000千円】（拡充）

5年ぶりの開催を目指すにあたり、各種プロモーション活動を充実させるとともに、多くの主体を巻き込んで、一体的な盛り上がりを図る。

（1）第九の未来を担う若い会員を獲得するため、区内外の高等学校、大学の合唱部等へ積極的なPRの実施
（2）会員募集やチケット販売等にあわせて広報を強化
（3）ソーシャルメディアを存分に活用し、動画等による積極的な情報発信

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

41

音楽が響き渡る魅力あるまちに！

すみだトリフォニーホールを核とする音楽事業の推進

予算額（継続）
31,700千円

問合せ
文化芸術振興課長
岩本 健一郎　内線5451

1 目的

新日本フィルハーモニー交響楽団等と連携し、子どもから大人まで、あらゆる世代の方が文化芸術に触れることのできる環境づくりを進める。

2 主な事業内容

音楽事業の推進【31,700千円】（継続） ※区からの補助額

（1）ホールを身近に感じられる公演

・ジャズ界のレジェンド・渡辺貞夫氏と新日本フィルのコラボ
・狂言公演～古典芸能への誘い
・下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト「大河ドラマのテーマ曲徹底解剖その2」
・町工場の作業音を織り交ぜたオリジナル曲を演奏するコンサート（信金中央金庫の地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」の寄付金を活用）　等

（2）アウトリーチ活動の充実

・福祉施設等でのふれあいコンサート
・小中学校への音楽指導、音楽教諭対象ワークショップ
・中学校吹奏楽部の生徒・教諭向けクリニック
・特別支援学級での音楽療法　等

※一部ホールの指定管理事業を含む

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

～渡辺貞夫meets 新日本フィル～

～小中学校音楽指導事業～

指揮者・佐渡裕氏（すみだ音楽大使／第5代新日本フィル音楽監督）とも連携し、“すみだ”に素晴らしい音楽を届けます！

42 レガシーを継承･発展、すみだの未来へつなげる

東京2020レガシー継承事業

予算額（拡充）
6,431千円

問合せ
スポーツ振興課長
大島　悠樹　内線5490

1 目的

区、関係団体、地域住民等が一体となってオリンピック･パラリンピックレガシーを継承･発展させる取組を推進し、区民の健康増進･共生社会の実現･地域力向上を図るとともに、令和5年度に策定予定の「（仮称）スポーツ推進計画」において、今後のレガシー継承事業の方向性を示していく。

2 主な事業内容

（1）ボクシング普及啓発事業　【3,031千円】（拡充）

ボクシング団体、地域、企業と連携した取組を展開し、ボクシングを「する･みる･ささえる」機会を提供する。

（2）障害者スポーツ普及啓発事業　【2,065千円】（拡充）

障害者スポーツを通じて、共生社会実現への理解等を深めるとともに、障害者にスポーツの楽しさを知ってもらう。

（3）スポーツボランティアの運営　【1,335千円】（拡充）

令和4年度に新設した「すみだスポーツボランティア」の活動環境を整えるとともに、研修･交流会等を実施し、区内外のスポーツイベントで活躍できる人材を育成する。

主なSDGs目標

3 事業イメージ･その他

01 ボクシング

すみだボクシング祭り2023

世界王者をはじめとした多数の著名ボクサーがすみだに集う！今年は企業協賛を募集する実行委員会形式で実施し、みんなでつくるイベントに！

2023全日本ボクシング選手権大会

アマチュアボクシング国内最強を決める全国大会が今年も区内で開催！

ボクシング出前授業

区内小学校でボクシングの基本やスポーツマンシップを学ぶ出前授業を展開！

02 障害者スポーツ

パラスポーツをする・みる

パラスポーツを身近で「する・みる」機会を提供するためパラスポーツ公式大会区内誘致や体験会を開催！

障害者スポーツ推進協議会の運営

スポーツ部門と福祉部門が連携し、障害のある方がスポーツ・運動を日常的に楽しめる場を提供！

03 ボランティア

活動機会・研修・交流会の充実

アスリート等を招いた研修や交流会を実施！すみだのスポーツイベント運営サポートのプロフェッショナルとして育成！

43

総来館者数100万人達成間近！

すみだ北斎美術館 特別展開催・展示ガイド導入

予算額（拡充）
１４,２８９千円

問合せ
文化芸術振興課長
岩本 健一郎　内線5451

1 目的

「すみだ北斎美術館」は、令和５年度に開館７周年を迎え、総来館者数100万人を達成する見込みである。

令和５年度重点企画として、‘武士’をテーマにした特別展『武士の世の中（仮）』を開催する。さらに、本特別展では、来館者サービスの向上、インバウンドの回復を見据えて、展示ガイドを導入し、「北斎のまちすみだ」の更なるPRを図る。

2 主な事業内容

(1) 重点企画 特別展『武士の世の中（仮）』 【10,500千円】（拡充）

・開催期間
令和５年12月14日（木）～令和６年２月25日（日）（予定）

・展示内容
武士たちやその戦いの道具である刀、鎧などが描かれた作品など、北斎の武者絵を中心に展示し、日本の歴史の中で政権を握ってきた武士の時代にせまる。

(2) 展示ガイド導入 【3,789千円】（拡充）

特別展の開催に合わせて、本美術館では初となる展示ガイド（音声ガイド）を導入する。日本語・英語での展開を予定しており、来館者サービスの向上を図るとともに、回復傾向にあるインバウンド需要に対応し、外国人観光客へのPRを行う。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

（20万人達成時の写真：平成29年）

44 若者世代の地域活動参加に向けて！

すみだタウンミーティング事業の強化

予算額（新規・拡充）
1,182千円

問合せ
地域活動推進課長
若林　三穂　内線5401

1 目的

区民（区内在住・在勤・在学）と区長との対話から得た声を、区政運営に役立てるために開催している。

次世代を担う若者の視点を区政運営に取り入れるため、若者を対象とした「タウンミーティング」を新たに開催し、事業の拡充を図る。

2 主な事業内容

(1)「すみだ若者タウンミーティング」の開催
【200千円】（新規）

地域活動への参加が少ない若者世代が、地域への関心を高め地域活動参加のきっかけとするため、テーマ設定から自身で行う、「すみだ若者タウンミーティング」を開催する。（※）令和5年度に3回開催する「タウンミーティング」のうち1回を「すみだ若者タウンミーティング」とする。

(2)「新しい日常」に対応したオンライン配信委託等
事務費【982千円】（拡充）

コロナ禍で「オンライン参加」を試験的に実施していたが、「新しい日常」に対応し、個々の事情に応じて誰もがどこからでも参加できる、より開かれた「タウンミーティング」となるよう、オンライン参加を確立していく。

主なSDGs目標

3 事業イメージ・その他

若者の意見を積極的に取り入れる！

区長と学生とのグループワークの様子

タウンミーティング会場からオンライン配信

オンライン同時開催

ひと、つながる。
墨田区